

令和6年度 第1回 秋田県立農業科学館運営協議会（議事録要旨）

1 日 時 令和6年7月26日（金） 13:30～15:30

2 場 所 秋田県立農業科学館 多目的ホール

3 出席者 秋田県立農業科学館運営協議会委員8名

4 議事概要

（1）報告（○：協議会委員、■：事務局）

①令和5年度 農業科学館事業実績について

②令和6年度 農業科学館事業について

③令和6年度 あきたMuseum機能強化事業

「Museum特別展充実事業」の外部評価について

○利用者状況について、6月にイベントを集中させているようだが、例えば母の日に合わせてバラを咲かせるようなことはできないか。

■バラの開花は気温が問題であり、母の日に合わせた開花は難しいと思われる。イベント時期の分散については検討したい。

○保育園の親子参観の時に出席講座を依頼することは可能か。

■当日の来館団体の状況にもよるが、対応可能と思われる。日時や持参しなければならないものの検討等が必要なため、事前にご相談いただきたい。

○大潟村の生態系公園温室の閉園にともない農業科学館に一部しか移植しないと聞いていたがどうか。

■当館にない貴重な植物を20株ほど移植した。温室の受け入れ容量や温室の環境もあり、できる限り引き受けた。

（2）協議（意見交換）

・ 施設利用率の向上を目指すための取組について

○講座・教室の生徒さんが制作した作品を展示する場所を探しているといった話を聞くとある。農業科学館の多目的ホールで展示できることを市内の講座・教室を開催している所へチラシを配布をしてみてもどうか。

○お米に関する展示が多い。大曲地区は酒米の産地でもあるため、お米から発酵、さらにお酒へ広げていって展示を行えば、若い人も呼び込めるのではないか。

○農業科学館は過去のことでは分かるが、今やっている農業や未来が見えてこない。
また、子どもが興味をもつか楽しめるものがないと来館者を増やすのは厳しい。

○今後10年先を考えればセカンドスクールの利用で利用者の増加を見込むことは
難しい。入館者の地域ごとの内訳はどうなっているか。そういったデータがあれば
もう少し検討できると思われるが。

■無料の施設であり、必ず通るゲートがあるわけでもないため把握していない。
アンケートに回答いただいた方をみると県南の方の来館が多い。

○コロナ禍で学校行事の精選が行われ、いろいろなことがカットされていった。コ
ロナが明けた今、新たな行事を立ち上げることが難しくなっている。既存の
学校行事に農業科学館としてタイアップする形がよいのではないかな。

○今年開催の「グリクラパーク」に何回か足を運び、新しいことに取り組んでいる
と分かった。家族連れで来ている方が多かったのも、そこがポイントになるのだ
ではないかな。

○これから障害者の生涯学習や福祉系の方の利用が増えてくるのではないかな。バリア
フリーといった場合ハード面を考えてしまうが、一番大事なのはソフト面である。
無理にお金をかけなくても障害者の方に伝わるような取組は口コミで広がってい
く。

(3) その他
特になし